

平成 30 年度 第 4 回理事会議事録

- ◇日時：平成 30 年 10 月 19 日(金)19:00～22:30
- ◇場所：宮城県臨床検査技師会 事務所
仙台市若林区清水小路 5-6 エスポート五ッ橋 704 号
TEL：022-723-4896
- ◇出席者：藤巻、鈴木（里）、佐藤、高橋、小塚、菅原、阿部、播磨、今野、及川、
小野寺、鈴木（宏）、金澤、武田各理事、丸勢監事
- ◇欠席者：大柳、渡辺、高崎各理事、大森監事
- ◇議長：藤巻 慎一
- ◇書記：今野 かおり

開会に先立ち、物故会員のご遺徳を偲び、ご冥福を祈って黙禱を捧げた。

1. 前回議事録の確認

第 3 回理事会議事録承認。各自、資料確認のこと。(資料①)

2. 理事行動

大柳： 9/7（金） 第 8 回宮城医療安全研究会幹事会（仙台市）

3. 審議事項

1) 会長（藤巻会長）資料事務局①

- ・日臨技災害支援対策マニュアルに基づく災害連絡責任者の変更
これまでは佐藤（誠）元副会長であったが藤巻現会長へ変更することが承認された。
- ・施設連絡責任者の連絡会（意見交換会）の開催について
各医療機関の施設連絡責任者（技師長等）に対して、技師会活動への理解と協力、会員のニーズ把握することを目的として、施設連絡責任者の連絡会（意見交換会）を行う事が承認された。
- ・新年賀詞交歓会の開催について
これまでは理事以外の参加が少ないこと等から本年度の賀詞交歓会は開催しないこととなった。

2) 事務局（鈴木事務局長）資料事務局②③

- ・『日臨技災害時支援対策マニュアル』に基づく都道府県技師会災害連絡責任者の変更について→これまでの佐藤（誠）前副会長から藤巻会長へ変更することに決定
- ・日臨技より『平成 30 年度災害派遣技師研修会について（依頼）』として宮臨技に

適任者推薦の依頼があった→DMATにこれまで必須の人材として臨床検査技師が組み込まれていなかったことから、理事や各種委員の中で対応可能な人材がいれば積極的に推薦したい→それ以外にもやってみたい若手や人材がいれば、推薦枠以外でも受講を期待する

- 表彰委員会設立のための『組織運営規程』、『表彰規程』の改定
→前回の改定で『組織運営規程』内の表彰委員会の設置規定が削除されていたため、委員会の設置と『表彰規程』内の委員会構成、任期について改定前の規程に戻すことを承認した
- 理事会で表彰委員会設置が承認され、委員として齋藤和榮元会長、佐藤誠前副会長、藤巻会長、大柳副会長、渡辺副会長、鈴木事務局長、高橋総務部長の7名の任命について承認した
- 各種規程の改定を総務部主体でお願いしたい→現状に即した内容にすることを確認し、次回以降総務部より提案することに決定
- 平成31年度 定時総会日程について検討し、2019年6月2日（日）開催予定とした。場所は、仙台市急患センターを想定し、予約可能か確認することとした

3) 学術部（阿部学術福部長）資料学術⑤

- 認知症対応向上講習会Bの開催を宮城県でも行いたい。
 - 受講者の確保1クール15名が限界だが少なすぎても会費的に困難なため、理事の間で10名程度の確実な参加者確保が必至である。
 - 2日間の日程になるため、講師の二泊三日宿泊費、交通費などが必要になる収支は黒字収支が必須であるため、後援（県警など）への働きかけが必要である
- 以上の内容と理事会の協力が承認された。

4) 精度管理部（播磨精度管理部長）

- 今回の精度管理試料発送トラブルについて中央から遠方の理事所属医療機関に精度管理試料の予備保管と対処が願えないか。
→理事所属機関に協力いただくと共に、資料発送時のチェック漏れ防止対策について検討が必要ではないかとの合意が得られた。

5) 公益事業部（小野寺公益事業部長）資料公益⑧（公益②③配信）

- 各公益事業に対する経費支給状況に対する提案
 - ①宮城県：日当のほかに交通費が支給される。
 - ②仙台市：日当は支給されるが交通費はそれに含まれる
→技師会からの交通費支給について承認された。
 - ③その他各自治体：日当は支給されない（技師会から交通費支給）
→理事だけの対応ではなく学術部門員など広く依頼してみても（小塚学術部長）今後は小塚学術部長と連携して、学術部門員への依頼も検討したい。
- 「HIV検査普及月間」「世界エイズデー」における梅毒迅速検査の実施

- 現在県保健所 HIV 迅速検査に協力しているが、梅毒検査も併せて実施したいとの依頼があり、検査や性感染症に対しての更なる普及啓発につなげたいとの趣旨に承諾を許可した。

6) 広報部（金澤広報部長）

- ・ HP における議事録
 - タブの変更に 18,000 円程度かかるため、事務局からのお知らせに掲載
 - 1 ページ目で HP の迅速な更新対応内容を収載告知（広報、事務局、総務）
 - ニュースみやぎでの議事録掲載→全文より抜粋へ変更 承認
 - Facebook 宮臨技アカウント更新
 - 現在まだ UP していないが、New アカウント複数名での運用が可能であれば、研修会開催状況や報告、告知も可能と考えられる→一人では対応に限界があるため、複数理事の協力を求む！
 - 現バナーに対するリンクの変更を地球ソリューションへ依頼が必要
- HP 議事録収載に関しては個人情報や討議の内容も収載されるため、会員以外も閲覧できる様にするのは問題があるのでは？（佐藤（朋）理事、丸勢監事）
- 他技師会の現状を確認し、今後も継続でどうするか検討すべき。（藤巻会長）

7) 記念誌編集（武田広報副部長）

- ・ 発送時の送付状について
 - 編集責任者：大森前会長
 - 発送依頼方法を費用について
 - 現会員 1085 名+招待状発行者+名誉会員+賛助会員+各県技師会
 - 当初より発行部数は増えるが、理事会にて承認された。

8) 第 50 回みやぎ医学検査学会（大森学会長）資料学会③④

- ・ 青木賞候補者推薦
 - 選考プロセスや採点表内容の詳細化などの意見が出たものの、今回の推薦に関して承認された。
- ・ 次回学会日程、会場、学会長、実行委員、テーマについて
 - 今年度よりは早い時期での開催を望む声が多いが、明確な日程に関しては次回に継続、学会長は藤巻会長とする。学術部門と連携し学会開催することを小堺学術部長と確認し、実行委員やテーマについても次回以降の審議とする。

4. 報告事項

1) 事務局（鈴木里香事務局長）

- ・ 事務所シリンダー錠交換完了（各理事、大家さんに送付済み）
- ・ 事務員大場さんの雇用契約更新（10 月から時給 930 円、交通費：地下鉄利用時の実費支給）

- ・ 北日本学会プログラム集発送（定期便に同封）
- ・ 会員の弔事に際し、規程に基づき香典・供花・弔電を贈る。今後も、会員の弔事があれば速やかな連絡をお願いしたい。（事務所及び会長・事務局長へ）
- ・ 宮臨技会員数　：　1085名（10/19現在）

2) 副会長（渡辺副会長）資料副会長①②

- ・ 第一回　東北乳房超音波講習会の進捗状況について
 - 申込案内書を10月と11月の2回、宮臨技の定期便で発送してもらう。
 - 北日本の各県事務所にも申込案内ファイルを配信予定。
 - 技師講師も決定、来月第2回実行委員会開催予定。

3) 学術部（小堺学術部長）資料学術①②

- ・ 依頼状などの時候挨拶の統一：10月16日に各部門長に配信
- ・ 研修会時のWebアンケートについて
- ・ 宮臨技研修会、共催（企業）企画開催履歴（2018年8月5日以降）
 - 9月7日　第8回宮城県医療安全研究会　6名
 - 9月22日　生理検査部門研修会　68名
 - 10月6日　一般検査部門研修会　39名
 - 10月13日　微生物部門研修会　21名
 - 10月14日　輸血部門研修会　41名
- ・ 宮臨技研修会、共催企画開催予定（承認済み）
 - 10月20日　臨床検査総合部門研修会
 - 10月20日　『第6回感染症診断フォーラム-東北-』
 - 10月21日　宮城超音波倶楽部
 - 10月27日　杜のみやこ臨床化学研究会
 - 10月27日　東北感染症研究会
 - 11月4日　病理細胞診部門研修会
 - 12月8日　血液検査部門・遺伝子検査部門合同研修会
 - 12月8日　第8回東北病理技術研修会
- ・ 部門内会議開催履歴
 - 9月19日　病理細胞診部門　病理分野企画会議　議事録提出済み
- ・ 主催や共催研修会の開催承認について
メーカー色の強い研修会・セミナーについては共催を要検討
案内にロゴなど表記してある場合は削除するなどして対応。

（阿部学術副部長）資料学術③④

- ・ 認知症対応向上講習会B視察報告
 - 今回の講習会視察と主催福島県、講師からの助言より宮城県での開催も十分可能との感触を得た。

4) 精度管理部（播磨精度管理部長） 資料ニューリーダー①

- ・ 10月8日(月)9時30分～ 15名の協力により精度管理試料梱包・発送作業完了（10時40分日本通運に搬送容器引き渡し）
 - 血液検体発送漏れ1ヵ所（スズキ記念病院→播磨対応）
 - 日本通運の搬送容器内に検体取り忘れ1ヵ所（江東微生物研究所→日本通運に再配達依頼、10時30分再配達完了の連絡有り）
 - CD-R再生不良2ヵ所（みやぎ東部循環器科→CD-R再発送）
（気仙沼市立病院→輸血の要綱が印刷できない→Webより印刷していただくようお願い）
 - Webの画面構成が日臨技と異なる（手引書の印刷方法が異なる）との問い合わせ（東北大学病院輸血部→電話にて印刷方法を説明）
→画面構成については来年度以降の課題とする。
 - 追加で血液の精度管理に参加したいとの連絡あり（遠藤クリニック（白石市）→配送手段がないため、お断りした）
 - 病理部門スライドでアーチファクトがあるのと連絡（高崎副部長対応）
- ・ 宮城ニューリーダー研修会案内について（資料添付）

5) 会計部（今野会計部長）

- ・ 9月25日(火) 公益目的事業の残金が終了した場合の会計の在り方について、及川副部長と共に鈴木会計事務所に相談。
→公益目的事業の報告義務はなくなり、一般社団法人としての会計に特に縛りはない。一般会員にわかりやすい会計報告を目標に検討継続。

6) 公益事業部（小野寺公益事業部長） 資料公益①（②③配信）、④（⑤⑥⑦配信）

- ・ 公益事業進捗状況
 - 10月20日『大崎市健康と福祉のつどい』、11月3日『白石健康福祉まつり』については参加準備中
 - 『まつりだ秋保』については参加見送り
依頼から開催まで期間が短い・屋外開催では検査精度に疑問（血管年齢測定）・参加者確保が難しい（公益事業立て込み・拘束時間・日当等）
 - 10月21日『ピンクリボン推進委員会主催講演会』小野寺部長、鈴木副部長参加予定
 - 11月8日『国民栄養調査（登米）』小野寺部長参加予定。
 - 『宮城県・世界エイズデー』参加者手配済み、資料参照。
 - 『仙台市・世界エイズデー』エイズ梅毒即日検査会 参加者募集中。
 - 『検査と健康展』進捗状況 資料参照 理事の出欠確認を行った。

7) 広報部（金澤広報部長） 資料広報①

- HP 更新 (学会、議事録)
 - ニュースみやぎ 秋 原稿進行中
- 8) 記念誌編集 (武田広報副部長) 資料見本数冊
- 発行進捗状況 10月15日(月) 最終校正会議 今月中の印刷・発送依頼の予定
 - 編集会議
 - 会議
 - 9月5日(水) 佐藤(誠)、大森、丸勢、武田
 - 10月1日(月) 佐藤(誠)、武田
 - 10月15日(月) 佐藤(誠)、丸勢、武田
- 9) 第50回みやぎ医学検査学会(大森監事) 資料学会①②
- 学会参加人数222名、情報交換会80名、学会収支236,496円の黒字(会計)
 - 運営反省点(狩野学会事務局長)
 - 学会メールアカウントを個人PCで管理(例年締切ぎりぎりや締切り後の申し込みが多いため)したため、受付状況や広告申込み等について他の実行委員の確認に遅れや行き違いが生じた。
 - 改善点
 - 演題登録にJAMTISを使用することにより、演者のみならず座長の履歴も残せるようになった。
 - 問題点
 - メールアカウントの管理方法や複数管理
 - JAMTIS運用でのプログラム作成では演題順が固定されてしまうため、自作せざるを得なかった。
 - スライドフォーマット(4:3か16:9)の指定がなかったためワイドで作成されたものも多く見られた。
 - 広告募集、賛助会員募集、展示募集など窓口の一本化や方法についての再考が必要。

次回理事会予定 平成31年1月以降 会長より各理事に連絡を行う。

以上

平成30年10月19日

一般社団法人 宮城県臨床検査技師会

会長：藤巻 慎一

監事：丸勢 共子